

《 Q & A資料 》

イーサポートリンク株式会社

(JASDAQ : 2493)

2011年 1月

- イーサポートリンクの「基幹システム」ってどんなものなの？ 2
- イーサポートリンクの事業って、どこのSIベンダーでもできるんじゃないの？ 3
- 業務受託事業(BPO)って、何らかの実作業を請け負っているの？ 4
- データ管理において、コードがそれぞれあるのは大変なことなの？ 5
- 生鮮青果物のトレースってそんなに大変なの？ どこのSIベンダーでもできるんじゃないの？ 6
- 量販店にとって、イーサポートリンクのシステムを活用するメリットはなに？ 7
- 「量販店への直接販売を支援」というけど、生産者は、直接、量販店に生鮮青果物を売っているでしょ？ 8
- なぜ、「りんご事業」をはじめたの？ 9
- GAP (ギャップ) ってなに？ 10
- XML-EDIって、単なる通信ツールでしょ？ どこのSIベンダーでもやっていることじゃないの？ 11

Q: イーサポートリンクの「基幹システム」ってどんなものなの？

A: 工業製品のようにサイズや品質が均一でない生鮮青果物を、データとしてコンピュータでオンライン管理することにより、生鮮青果物流通の「困難」を「可能」に変えたのが、イーサポートリンクの基幹システム（イーサポートリンクシステム）です。

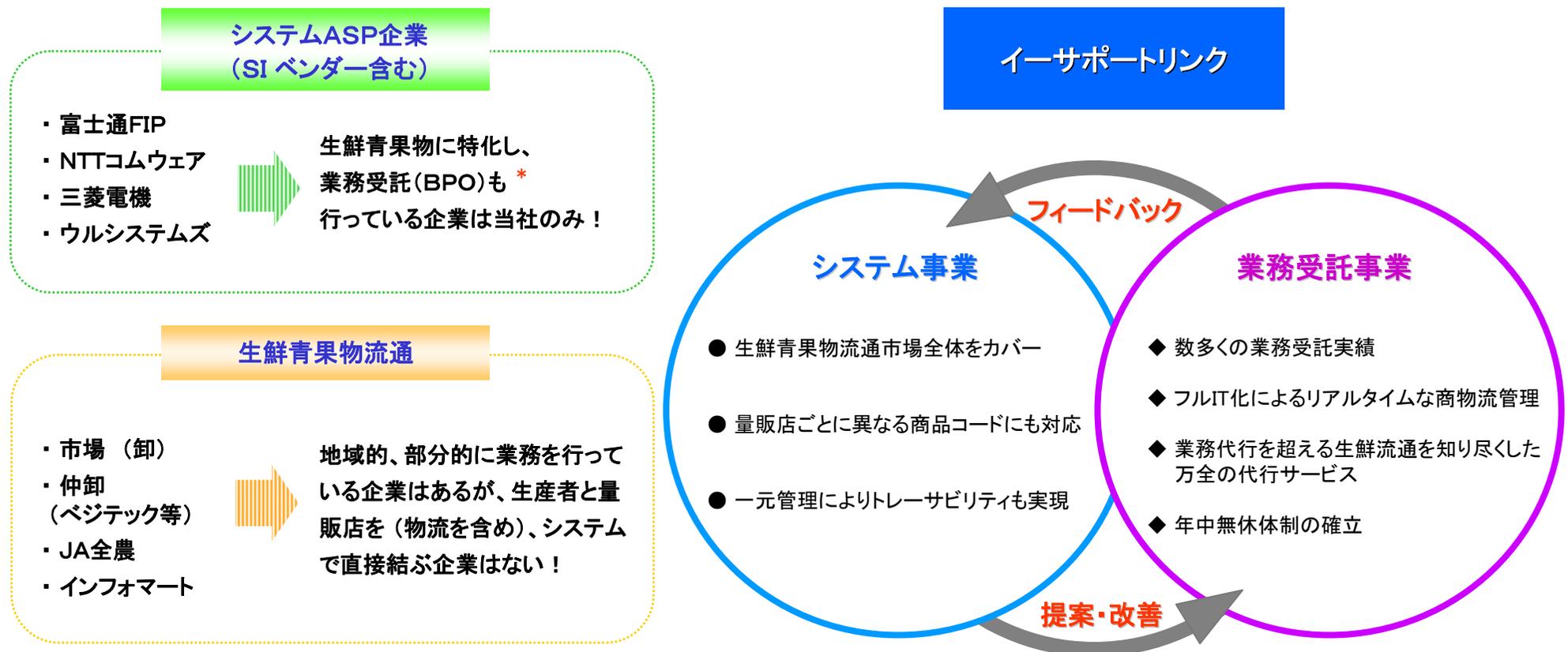
< 特徴 >

- [商流]・[物流]・[情報流]を一括で管理するシステム
- 量販店ごとに異なる商品コードにも対応できるシステム (Q&A資料~P.5参照)
- 生産者から量販店までに生鮮青果物流通全体に必要な機能をサポートする、他に類のないシステム
- 中間流通のトレーサビリティをサポートできるシステム (Q&A資料~P.6参照)
- 日々の在庫状況、商品別損益が見えるシステム

**生鮮青果物流通に特化したイーサポートリンクだからできたのです！
他からの追隨を許さない強さがあります！**

Q: イーサポートリンクの事業って、どこのSIベンダーでもできるんじゃないの？

A: システム事業の競争相手としては、数社のシステム会社とソフトウェア開発業者が考えられます。
しかし、当社のように生鮮青果物に特化し、システム事業と業務受託事業(BPO)^{*}の両面で事業展開をしている企業は、他にはありません。



^{*} 虎の巻: 「イーサポートリンクの最大の強み! 業務受託事業『BPO』」参照

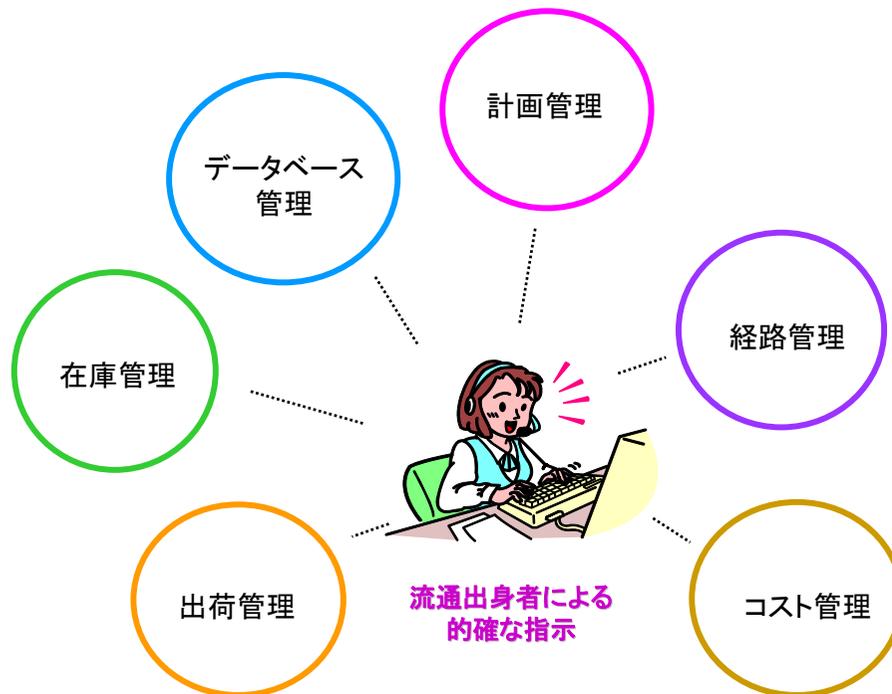
Q: 業務受託事業(BPO)^{*}って、何らかの実作業を請け負っているの？

A: 「実作業」を請け負っているではありません。

お客様の情報管理を集中して行い、効率よくオペレーションをまわすための判断と指示を行うことが、当社の役割です。

* BPO・・・ ビジネスプロセスアウトソーシング
ビジネスプロセスの一部を外部の業者に委託すること

★ 効率よいオペレーションには、“プロの判断”が必要です！



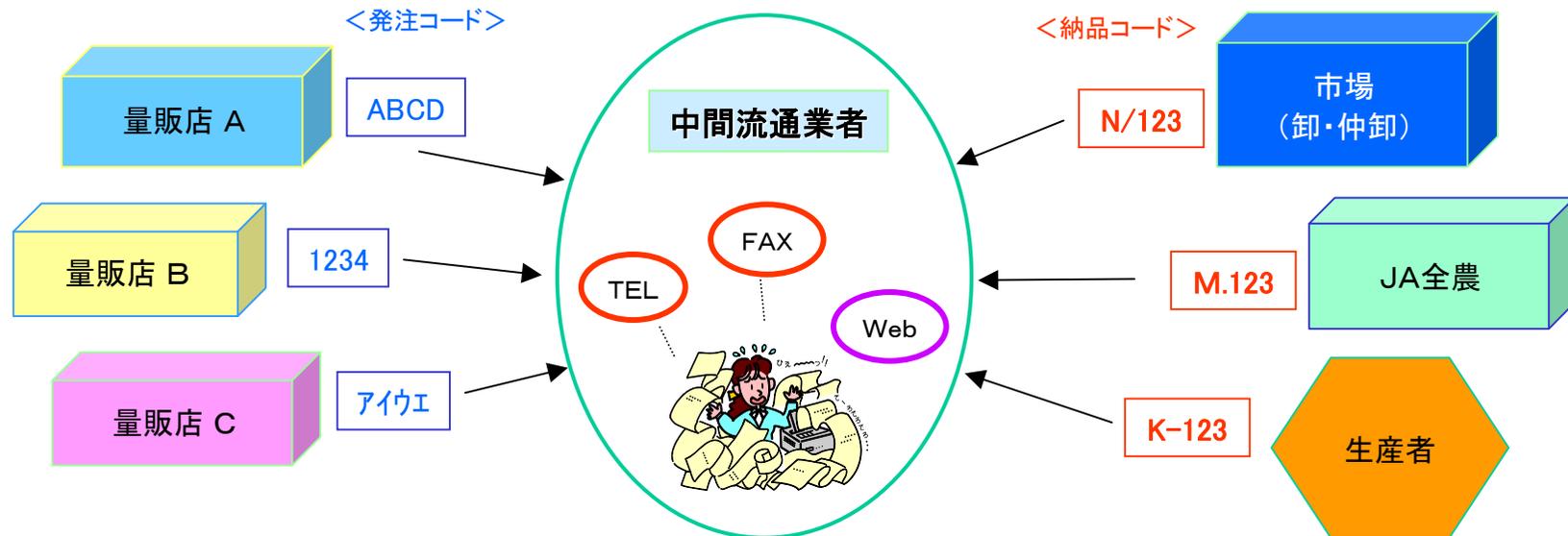
なぜ、イーサポートリンクは
“プロの判断”ができるのか

- 販売計画および実績データは、システム上に整理されており、システムとの対話によって、作業はスムーズに流れます。
- 当社の社員は、流通出身者が多く『現場』を熟知しているため、的確な指示を行うことが可能です！

Q: データ管理において、コードがそれぞれあるのは大変なことなの？

A: 取引業者毎に「自社コード」で受発注を行うと、中間流通業者がこれらを全て整理しなければなりません。
これは、相当なタイムロスと商品のブレ^{*}を招くことになり、トレーサビリティも困難になります。

* 商品のブレ… 発注どおりの品物を納品できない。(産地、サイズ、等級など)



イーサポートリンクは
システムで整理します！

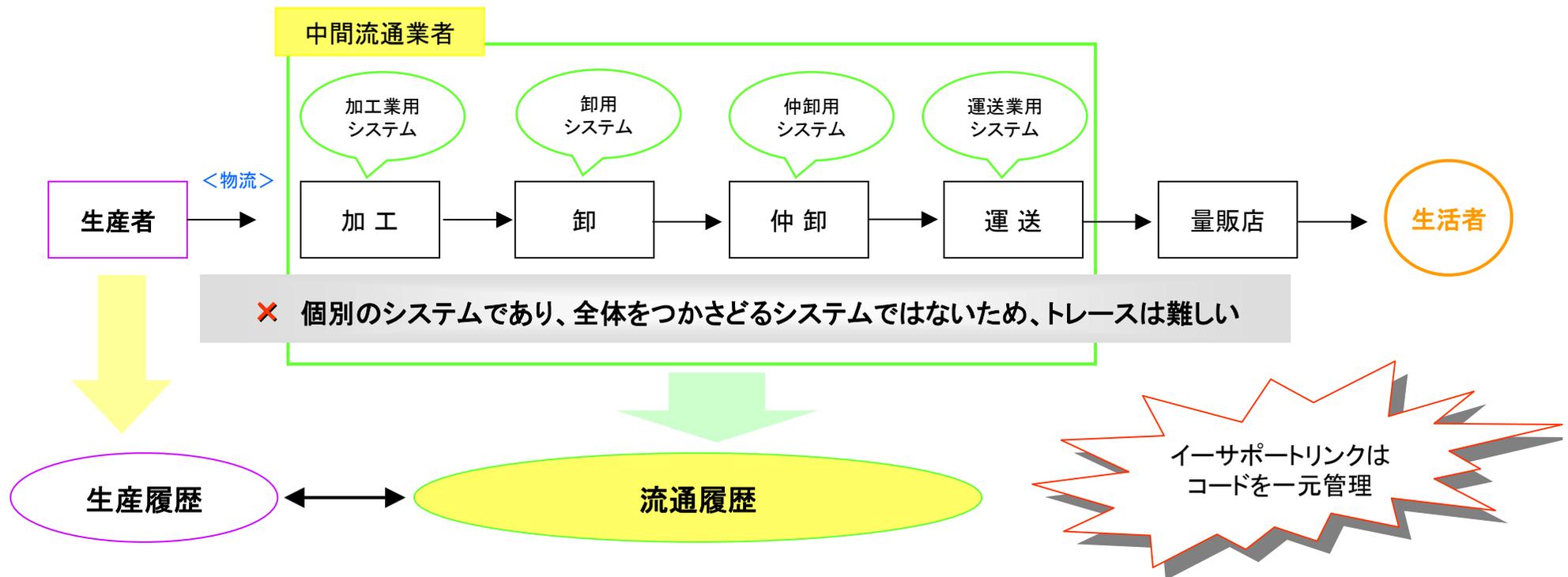


それぞれの商品コードを自動変換！
確実なデータ管理により、トレーサビリティも実現！

Q: 生鮮青果物のトレースってそんなに大変なの？ どのSIベンダーでもできるんじゃないの？

A: 加工品と違い、生鮮青果物のような“生きているもの”において、トレーサビリティを実現させるのは大変なことです。すべての履歴をトレースできるシステムを構築したのはイーサポートリンクだけです。

◆ 他社SIベンダーの場合… 業者毎のシステムは作れているが、【履歴】をとることができていない！



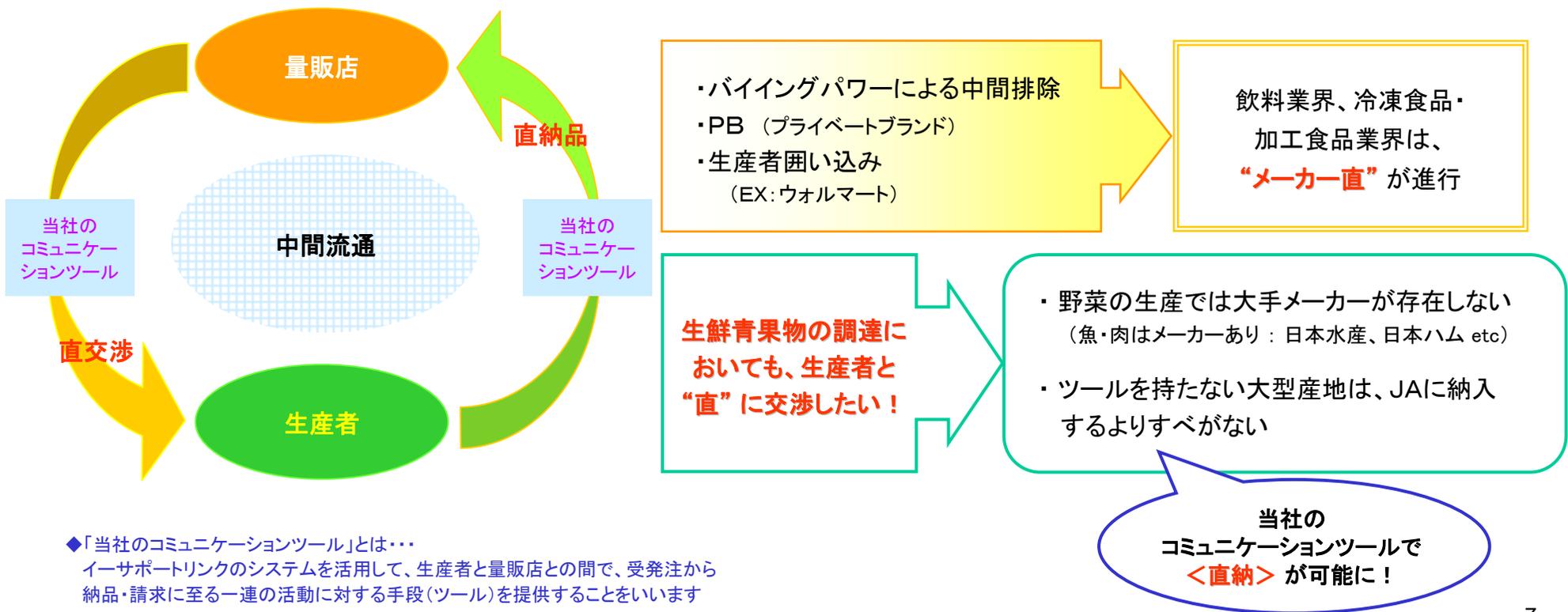
システム構築からトレーサビリティまでを実現させているのはイーサポートリンクだけ！

Q: 量販店にとって、イーサポートリンクのシステムを活用するメリットはなに？

A: 量販店は、生鮮青果物について「^{*}地産地消」の推進や「^{*}マーチャダイジング」の進化を目指しています。しかし、生鮮青果物については、生産者まで情報を遡るのが難しく、十分な成果が上がりません。当社のシステムと業務受託(BPO)は量販店と生産者を繋ぐコミュニケーションツールとして活用することができます。そのため、当社のサービスは一部量販店からは高い評価を得ており、注目されています。

* 地産地消... 地元で生産されたものを地元で消費するという意味

* マーチャダイジング... 商品調達戦略のこと



◆「当社のコミュニケーションツール」とは...
イーサポートリンクのシステムを活用して、生産者と量販店との間で、受発注から納品・請求に至る一連の活動に対する手段(ツール)を提供することをいいます

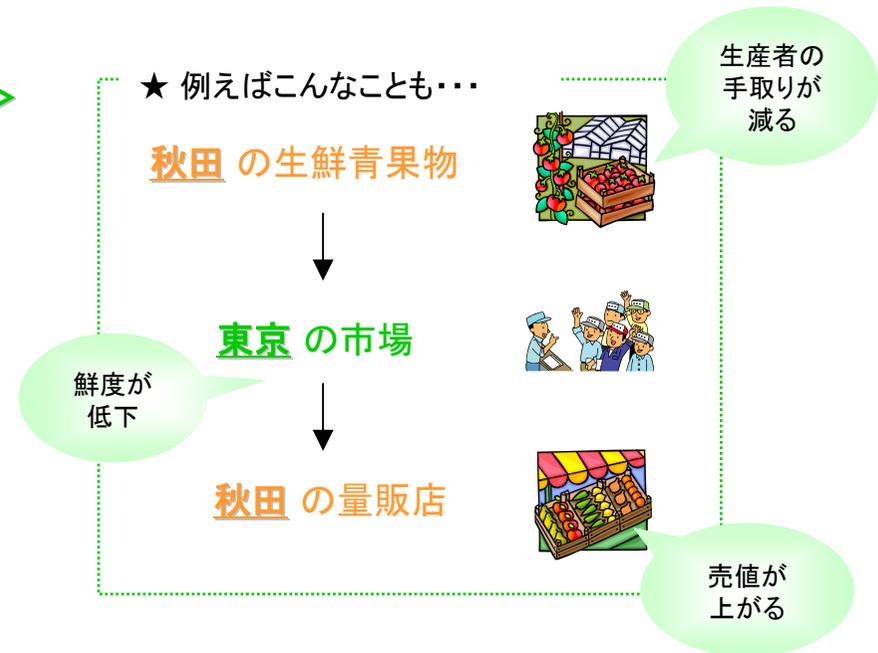
Q: 「量販店への直接販売を支援」というけど、生産者は、直接、量販店に生鮮青果物を売っているでしょ？

A: いいえ。

大半の生鮮青果物は、「市場」を経由して納品されており、直接量販店に納品されることは少ないんです。

＜短期間しか出荷できない生産者・生産者団体・JA の現状＞

量販店に、直接販売したいが・・・
 直接販売する「**手立て**」、「**体制**」がない！
 ↓
 市場に出すしかない・・・



イーサポートリンクなら
“直接販売”を支援できます！
 (“直”取り引き)

「手立て」・・・ 生鮮MDシステム

虎の巻: 「生鮮青果物流通を革新する生鮮MDシステムの取り組み」参照

「体制」・・・ 業務受託(BPO)

虎の巻: 「イーサポートリンク最大の強み！業務受託事業『BPO』」参照

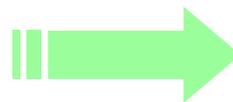
Q: なぜ、「りんご事業」をはじめたの？

A: 生産者にとっての有利販売をめざしており、子会社:株式会社農業支援におけるマーケティング事業の一種のモデルケースとして、りんご事業を始めました。マーケティングを通じて、生産者の販売を支援していく考えです。

* 生産者の生産努力が「価格」に反映できる販売手段



- ◆「株式会社農業支援」の主要機能
- ・マーケティング、ブランド育成支援
 - ・“シーズン”を越える供給
 - ・量販店への窓口機能



**提携農業生産法人を増やし、
安全な農産物を安定的に供給する
ことを実現させる！**

Q: GAP (ギャップ) ってなに？

A: 適正農業規範のことです。生鮮青果物生産の各段階で生産者が守るべき管理基準とその実践のことで、生鮮青果物の安全、環境への配慮、作業者の安全と福祉などの視点から適切な農場管理のありかたについてまとめられたものです。

GAP = Good Agricultural Practice
(良い) (農業の) (やり方)

★ JGAP (ジェーギャップ) …

NPO法人日本GAP協会が進める「日本の適正農業規範」およびその認証制度

★ * GLOBAL GAP (グローバルギャップ) …

2000年に欧州小売業組合が共通化し、作成した適正農業規範およびその認証制度

「GLOBAL GAP」
を取得していないと
欧州に輸出するこ
と
が
でき
ませ
ん

* 2007年9月に「EUREP GAP」から、「GLOBAL GAP」に名称変更

**イーサポートリンクは
GAPを基準に
取り組んでいる生産者を
支援します！**



- ・ システム … 「農場物語」 生産履歴管理システム
- ・ 販売支援 … (株) 農業支援

Q: XML-EDIって、単なる通信ツールでしょ？ どのSIベンダーでもやっていることじゃないの？

A: はい。XML-EDIは単なる通信ツールです。イーサポートリンクは、このXML-EDIをベースに『生鮮MDシステム』を構築し、他社SIベンダーとの差別化を図っていきます。

◆ 生鮮青果物は…

- ・コード体系が複雑で、属性が多い
- ・追加変更が多い
- ・加工が入り、荷姿が変わる

**XML-EDI だけでは、
生鮮青果物に対応できません！**

＜他社SIベンダー＞

- ・ 生鮮青果物に対応する
ノウハウに乏しい
- ・ 構築するまでに時間を
要する

＜イーサポートリンク＞

- ・ 生鮮青果物流通に必要なシステムを
構築できるノウハウがある！
- ・ 付加システムとして、
「生鮮MDシステム」を構築！

イーサポートリンクは、XML-EDIのメリットを活かしたシステムを付加！

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

【本件に関するお問い合わせ】

イーサポートリンク株式会社

管理グループ 人事総務部 広報課

TEL: 03-5979-0784 E-mail: IR@e-supportlink.co.jp